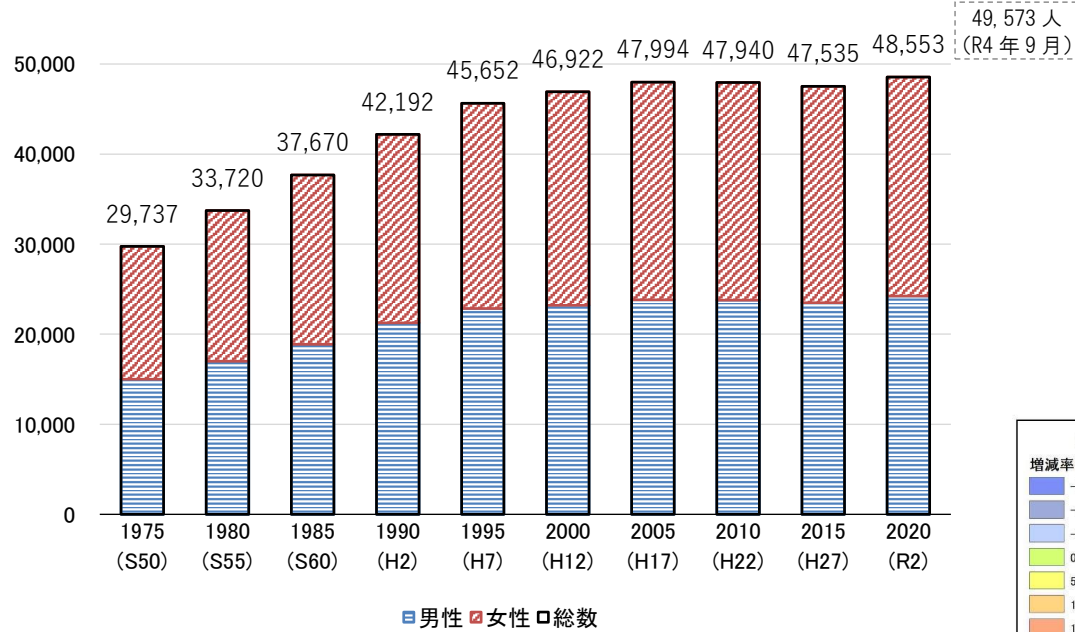


阿見町総合計画に係る基礎調査 全体の概要

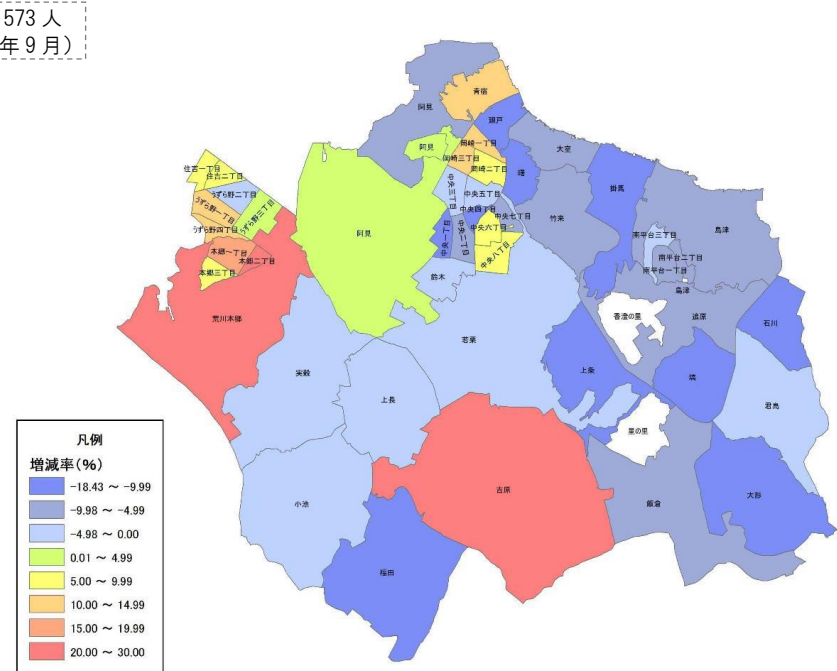
人口の状況

- ・ R2国勢調査による阿見町の人口は48,553人。前回調査から県内第3位となる2.1%の増加。（令和4年9月1日時点の常住人口は49,573人）
- ・ 増加の要因は転出入による社会増で、土浦市をはじめ県内市町村からの転入が中心。
- ・ JR 荒川沖駅に近い町西部、阿見東 IC に近い地域で人口が増加。
- ・ 町域東部では吉原地区以外で人口が減少。

■人口の推移



■小地域別人口増減図



【人がつながるまちづくり】

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>Strength 強み</p> <p>(現) 経常収支比率が高いものの、全体として財政状況は健全に保たれている。</p> <p>(現・意) 電子申請による行政手続きの利用が増えており、30代以下の世代では、行政手続きの電子化、オンライン化の推進を求めている。</p> <p>(意) 若い世代では、財政の健全化や適切な行政運営を求めている。</p> <p>(施) 地域予算制度による地域づくり会議、町民がまちづくりについて話し合う「町民討議会」が開始され、町民参加型のまちづくりが進められている。</p>	<p>Weakness 弱み</p> <p>(現) 就職のタイミングで人口が町外に流出しており、特に女性でその傾向が強い。</p> <p>(現) 行政区への加入率は10年で10%程度、低下している。</p> <p>(現) 議会や区長に占める女性の割合が低く上昇していない。</p> <p>(意) 町民参加やコミュニティ活動は、満足度及び今後の重要度も低い。</p> <p>(意) 地域のつながりを大切にしていく上では、働きやすい職場環境への支援が求められている。</p> <p>(現) 公共施設の維持管理が大きな負担になることが想定される。</p>
	<p>Opportunities 機会</p> <p>(現) 高齢者の就業率が増加している。</p> <p>(現) 外国人が増加している。</p> <p>(現) マイナンバーカードの普及が進んでいる。</p> <p>(社) デジタル田園都市国家構想では「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指して、デジタルインフラの急速な整備、地方におけるDXの積極的な取組が進められる。</p> <p>(社) 「新しい生活様式」の浸透により、地方移住への関心が急速に高まっている。</p>	<p>Threats 脅威</p> <p>(現) 女性の就業率が上昇しているが、正規雇用率は男性と比較して低くなっている。</p> <p>(現) 婚姻数が減少している。</p>

(現) 現状分析 (意) 町民意向調査 (社) 社会状況分析 (施) 施策評価

【人を育むまちづくり】

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>Strength 強み</p> <p>(現) 年少人口の割合が高く、数も減少から横ばいになりつつある。 (現) 待機児童数が少ない。 (意) 健康診断やがん検診費用の助成など、予防・早期対策へ関心が高い。 (意) 医療福祉については、現在の満足度も高く、今後もどの世代からも重要視されている。 (意) さらなる今後保育サービスの充実や経済的な負担軽減策の充実が求められていが、満足度は高い。</p>	<p>Weakness 弱み</p> <p>(現) コロナ禍で公民館や図書館、体育施設などの公共施設の活動が制限されている。 (現) 高齢者のみの世帯が増え続けている。 (現) 高齢化率が上昇しており、その半数は後期高齢者となっていて、要支援・要介護認定者が増加している。 (現) 特定健康診査の受診率が低く、特に若い年齢層で低くなっている。 (意) 看護・介護サービスの充実が求められている。40代以下の世代では、家族等への支援を求めている。 (意) 多世代が交流できる機会の創出や、イベントなどが求められている。 (社) 子育て世帯への手厚い支援と町としてのPR強化が必要。 (現) ひとりあたりの医療費は増加傾向である。</p>
	<p>Opportunities 機会</p> <p>(現) 高校卒業後の進路は大学等への進学率が高まっている。 (社) 国の学校教育の方針では、少人数学級とICT教育環境の充実により、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す。 (社) 「人生100年時代」に対応し、社会に出た後も学び直して、新たな知識や技能を身に着けることが必要な時代。 (社) 多様性の時代に合わせて、多様な人々が暮らしやすいダイバーシティ社会への変革が必要とされている。</p>	<p>Threats 脅威</p> <p>(現) コロナ対応等により、対面での活動が今後も制限される状況が想定される。</p>

(現) 現状分析 (意) 町民意向調査 (社) 社会状況分析 (施) 施策評価

【暮らしを支えるまちづくり】

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>Strength 強み</p> <p>(現) 近隣市町村の多くから人口が流入している。 (現) R2 の国勢調査で人口は 48,553 人となり、その後の約 2 年間で 1,000 人近い人口がさらに増加している。 (現) 交通利便性の高い荒川本郷地区、吉原地区で市街地の開発が進んでおり、住宅の新築も増加している。 (現) 労働力人口は維持しており、完全失業率が低下している。 (現) 商業や工業部門では従業者数が増加。 (現) 観光入込客数は毎年 300 万人を超え、県内上位となっており、アウトレットやゴルフ場、予科練平和記念館への集客が多い。 (意) 二所ノ関部屋との連携推進による地域の活性化が期待される。 (社) 住むだけでなく、ある程度の通勤・通学による流入がある。</p>	<p>Weakness 弱み</p> <p>(現) 町の東部を中心に人口が減少している地域が多い。 (現) 空き家率が増加している。 (現) 人口あたりの公園数や公園面積は県平均より低くなっている。 (現) 一人当たりの市町村所得は県全体よりも若干低い。 (現) 農業部門では農家数や経営耕地面積が減少している。 (意) 交通体系・公共交通の充実は、住み続けるためには重要であり、若い世代からも重要視されているが、全世代において満足度が低い。 (意) 観光の振興は現在の満足度も低く、今後の重要度も低くなっているが、コロナ禍の影響を受けていると考えられる。 (意) 娯楽・レジャー施設が不足していることが住みにくい理由。 (意) 地域経済の活性化のための取組については、町民の高齢層は農業への支援を重視、若年層はアウトレットとの連携やアウトドア体験を重視する傾向がある。</p>
	<p>Opportunities 機会</p> <p>(現) 圏央道の 4 車線化が進んでいる。 (社) コロナ禍をきっかけに、身近な自然環境に触れる旅行やアウトドア体験などへのニーズが高まっている。持続可能な地域観光づくりが求められている。</p>	<p>Threats 脅威</p> <p>(施) 今後、荒川本郷地区における人口増を踏まえた教育施設、都市基盤に対する整備計画の検討が必要。 (社) 高齢化や人口減少が本格化するなか、労働量の確保や質の向上を図る働き方の見直しや人への投資が課題。</p>
外部環境		

(現) 現状分析 (意) 町民意向調査 (社) 社会状況分析 (施) 施策評価

【安全・安心のまちづくり】

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>Strength 強み</p> <p>(現) 下水道や汚水処理の普及率が進み、県平均を上回っている。 (現) 火災発生件数が人口あたりで少ない。 (現) 交通事故の発生件数が10年前に比べて半数以下に減少している。 (現) 刑法犯認知件数は10年前に比べて半数以下に減少している。 (現) 医師や保健師、看護師、助産師等が多い。 (意) 消防・救急体制の充実については、現在の満足度も高く、今後重要視されている。 (意) ごみの削減やリサイクルへの関心が高く、10代~20代では食品ロスの削減への関心が高い。 (意) 自然災害が少ないことが、住みやすい理由となっている。</p>	<p>Weakness 弱み</p> <p>(現) 水道普及率は県平均より低くなっている。 (現) 一人あたりのごみ排出量が県平均より多くなっている。 (現) リサイクル率が県平均より低くなっている。 (現) 二酸化炭素排出量の推計では約7割が産業部門から排出されており、排出量は県内ワースト15位である。 (意) 防犯対策の推進は、30代以上の世代で重要視されている。</p>
	<p>Opportunities 機会</p> <p>(社) ポストコロナの経済回復に向けて、国際的なトレンドでもあるグリーン（環境）分野やデジタル分野等への投資を拡大し、社会課題の解決にもつなげていくことが必要とされている。 (社) 国では、2050年までに温室効果ガスの排出ゼロ、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す。 (社) SDGsに関連付けた地方創生に向けた取組が加速している。</p>	<p>Threats 脅威</p> <p>(意) 災害に備えるため、水道管などのインフラ施設の老朽化・耐震化対策が重要視されている。 (社) 気候変動による異常気象、自然災害の激甚化・頻発化による気温上昇や雨の降り方の変化により、熱中症や気象災害等のリスクが高まっていくことが懸念されている。</p>

(現) 現状分析 (意) 町民意向調査 (社) 社会状況分析 (施) 施策評価